

2025 年 9 月 26 日

BYD Japan Group 広報部

世界初の量産型 1200V 超高電圧プラットフォームを搭載
BYD「YANGWANG U9 Xtreme」が世界最速 496.22km/h を達成
最先端技術と希少性を兼ね備えた究極の EV スーパーカーを世界限定 30 台で販売

- ドイツ ATP 認証の下、最高速度 496.22km/h を達成し EV 世界最速を更新。ニュルブルクリンク北コースでも 6 分 59 秒 157 を記録
- 世界初の量産型 1200V 超高電圧プラットフォームを搭載し、30,000rpm モーター4 基で総出力 3,000PS 超を実現。e⁴プラットフォームと DiSus-X で高次元の安定性を確保。
- 佳通タイヤと共同開発した専用セミスリックタイヤを装着し、世界限定 30 台の特別モデルとして販売。



BYD のハイエンドブランド「仰望（YANGWANG／ヤンワン）」が開発したスーパーカー「YANGWANG U9 Xtreme」が、最高速度 496.22km/h を達成し、2025 年 8 月に「YANGWANG U9 Track Edition」が記録した 472.41km/h^{*1} を更新、EV 世界最速の新記録を樹立しました。さらに、世界有数の難関サーキットであるニュルブルクリンク北コースでも 6 分 59 秒 157 を記録し、サーキット性能の高さも証明しました。本モデルは最先端技術とコレクターズバリューを兼ね備えた希少車として、世界限定 30 台で販売されます。



■EV 世界最速 496.22km/h を記録、「最高速」と「サーキット性能」の両立を証明

2025 年 9 月、BYD のハイエンドブランド「仰望（ヤンワン）」は、ドイツ ATP 認証の下、ATP Automotive Testing Papenburg 試験場において、スーパーカー YANGWANG U9 Xtreme が最高速度 496.22km/h を記録し、電気自動車（EV）の世界最速記録を更新しました^{※2}。さらに、世界有数の難関サーキットである ニュルブルクリンク北コースにおいて 6 分 59 秒 157 の初ラップタイムを計測し、EV スーパーカーとして「最高速」と「サーキット性能」の両立を証明しました。

■境界を突破し極限を追求する「YANGWANG U9 Xtreme」

「U9 Xtreme」の名称は“extreme（極限・極致）”に由来し、「X」は未知や境界を意味します。両者を組み合わせた「Xtreme」は、境界を突破し極限を追求する探究精神を象徴しています。日常走行とサーキット走行を両立する現行「YANGWANG U9」とは異なり、U9 Xtreme はサーキット性能に特化し、車両のハード・ソフト両面を全面的にアップグレードしました。

世界初の量産型 1200V 超高電圧プラットフォーム^{※3}を搭載し、30,000rpm 高性能モーター4 基を採用。高強度航空アルミニウム製ハウジング、高速ベアリング、970MPa ローターといった最高水準の素材を組み合わせ、総出力 3,000PS 超、パワーウェイトレシオ 1,217PS/t^{※4}を実現しました。さらに、e⁴プラットフォームと DiSus-X インテリジェント車体制御システムをサーキット向けに最適化し、車体姿勢制御を導入。理論値を超える性能の質的変革をもたらし、最高速とラップタイムを同一車両で両立することに成功しました。

■革新的な冷却システムとサーキット仕様ブレードバッテリーで加速性能を大幅に向上

U9 Xtreme は冷却システムを刷新し、大流量オイルポンプと立体的なモーター冷却方式を採用。システム総効率を従来比 133%向上させ、ピーク性能を安定的に維持します。サーキット仕様ブレードバッテリーはセル設計と内部抵抗を最適化し、新開発の二層冷却構造と組み合わせて 30C の超高放電倍率 と高い

放熱効率を実現。加速性能・回生制動性能を大幅に向上させ、リン酸鉄リチウム電池の新たな性能基準を打ち立てました。

■ 強化された新開発ブレーキと専用セミスリックタイヤで安定した操縦性を実現

制動システムも大幅に強化されました。新開発のチタン合金カーボンセラミック制動システムを採用し、通気孔とスリットを備えたカーボンセラミックディスクにより摩擦力と放熱性を改善。チタン合金キャリパーは軽量化と剛性強化を両立し、ブレーキフィールを高めると同時に低熱伝導性によりブレーキフルードの沸騰を防ぎます。さらにニュルブルクリンク北コースの特性に合わせてブレーキ制御アルゴリズムを再調整し、177 カ所のブレーキングポイントで性能低下を示さず、卓越した制動安定性を発揮しました。

仰望は 2024 年のニュルブルクリンクおよび最高速試験データを基に、佳通タイヤ（Giti Tire）と共同で専用のセミスリックタイヤ「GitiSport e-GTR² PRO」を開発。防弾衣にも使用される超高強度アラミド繊維を用い、500km/h 領域での形状変化を抑制しました。非対称トレッドパターンにより高速コーナリング時のグリップ性能とウェット路面での排水性能を両立。さらにサイドウォール強化構造を採用し、超高 G での旋回時も安定した操縦性を実現しています。



■ EV 技術開発を新たなステージへ、世界限定 30 台で販売

U9 Xtreme の最高速とラップタイムにおける二重のブレークスルーは、NEV 技術開発における新たなマイルストーンであり、中国ブランドが世界の高性能車市場において確固たる技術リーダーシップを確立したことを示しています。世界限定 30 台の U9 Xtreme は、最先端技術とコレクターズバリューを併せ持つ希少なモデルとして、自動車史に新たな一章を刻みます。

※1 2025 年 8 月 8 日に BYD「YANGWANG U9 Track Edition」が EV 世界最速 472.41km/h を達成。
(プレスリリース：https://byd.co.jp/news/2025_0829_275.html)

※2 自動車試験場（ドイツ ATP 認証）で計測された EV の走行速度について世界一（自社調べ／2025 年 9 月時点）

※3 EV において、量産型 1200V 超高電圧プラットフォームを搭載した車両は世界初（自社調べ／2025 年 9 月時点）

※4 海外式の Power-to-weight ratio「単位重量あたりの出力」で算出（自社調べ／2025 年 9 月時点）

【YANGWANG（仰望）について】

2022 年に誕生した BYD のフラッグシップ・プレミアム NEV ブランドです。革新への探求精神、最先端の技術とデザインを融合し、従来の常識を超えるプレミアム EV を提供しています。

【BYD（比亞迪/BYD Company Limited）について】

1994 年に充電式バッテリーメーカーとして設立。現在は自動車、軌道交通、新エネルギー、エレクトロニクスの 4 事業を展開し、世界 6 大陸・100 以上の国と地域・400 以上の都市でゼロエミッションエネルギーソリューションを提供。香港と深圳証券取引所に上場、フォーチュン・グローバル 500 企業。詳しくは <https://www.bydglobal.com> をご覧ください。

【BYD Auto について】

2003 年設立。純電動車およびプラグインハイブリッド車の開発に特化し、バッテリー、電動モーター、パワーエレクトロニクス、車載半導体といった新エネルギー車の全バリューチェーンで中核技術を保有。ブレードバッテリー、DM-i/DM-p/DMO ハイブリッド、e-Platform 3.0、CTB 構造、DiSus インテリジェントボディコントロールシステム、Xuanji アーキテクチャなど革新的技術を次々と実用化し、世界で初めて化石燃料車の生産を停止した自動車メーカーとなっています。

【参考資料】本資料は BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。
本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025 年 9 月 26 日（金）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>